

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

もくじ

安全上のご注意 P.1	■各部の名称・仕様 P.4
■輸送上のご注意 P.1	■設置方法 P.5
■吊上げ時のご注意 P.1	■連結方法 P.5
■キャスター取付時のご注意 P.2	■外装パネルの着脱方法 P.6
■施工上のご注意 P.2	■ドア左開きの変更方法 P.7
■使用上のご注意 P.2	■ケージナット用マウントアングルの移動方法 P.9
■コンセントバー使用時のご注意 P.3	■各種オプションの取付方法 P.10

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

	警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
- 気をつけていただく内容です。
- してはいけない内容です。
- 実行しなければならない内容です。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。








輸送上のご注意

警告	
	ラック内に機器を搭載した状態での輸送はしないでください。ラックおよび機器が破損するおそれがあります。
	本製品をベルトなどで荷台に固定する場合は、締過ぎないでください。特に締過ぎを認識できないレバーブロックなどの荷締器具は使用しないでください。締過ぎにより、ドア・側板などの変形や蝶番部の破損の原因になります。







吊上げ時のご注意

警告	
	<p>本製品を連結した状態で吊上げしないでください。落下・破損・変形の原因になります。</p>
	<p>吊上げ可能質量を超えないでください。落下・破損・変形の原因になります。 吊上げ可能質量：900kg（製品質量を含む） （製品質量はカタログを参照）</p>
	<p>本製品を吊上げる場合は、アイボルト【RD71-16】を使用し、吊上げ中心方向に向けて固定してください。落下・破損・変形の原因になります。</p> <p>必ず 4カ所で吊上げ、45°以上の角度で均一な荷重にしてください。2カ所での吊上げや45°未満の角度での吊上げは、落下・破損・変形の原因になります。</p>









■キャスター取付時のご注意

 警告	
 <p>本製品にキャスターを取付ける場合は、キャスター【RD72-6T(S)】を使用して、許容荷重を超えないでください。転倒・破損・変形の原因になります。 許容荷重：900kg(4個使用の場合、製品質量含む) (製品質量はカタログを参照)</p>	 <p>キャスター取付けの際は、周囲の安全を確認の上、ラック本体を横に倒してください。けがの原因になります。</p>
<p>キャスター取付けの際は、必ず3人以上で作業してください。けがの原因になります。</p>	 <p>本製品を横に倒す際は、ドア・側板など外装パネルを取外してください。変形・破損の原因になります。</p>
 注意	
 <p>指に注意</p> <p>キャスターのストッパーを手で操作する際は、可動部に指を挟まないでください。けがの原因になります。</p>	 <p>設置後は、必ずキャスターのストッパーをONにしてください。転倒・破損の原因になります。</p>

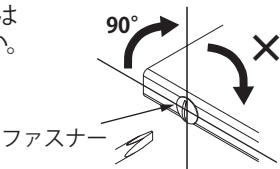
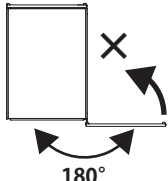
■施工上のご注意

 警告	
 <p>アースせよ</p> <p>アース端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。感電の原因になります。</p>	 <p>電気工事(取付・施工)は有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。</p>
 <p>設置・連結を行う際は、必ず2人以上で作業してください。けがの原因になります。</p>	<p>電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守してください。故障・感電・けがの原因になります。</p>
<p>アンカーボルトは必ずM16を使用してください。地震などで転倒・破損の原因となります。</p>	<p>配線は適合した電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・火災のおそれがあります。</p>
<p>連結を行う際など脚立に乗って作業する場合は、足元が安定していることを確認してください。転倒・落下によるけがの原因になります。</p>	<p>電源コードまたはケーブルを配線する際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、発熱・火災・感電の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。</p>
 注意	
 <p>ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。</p>	




■使用上のご注意

 警告	
 <p>機器をスライドレールなどにより引出す際は、二段以上同時に引出さないでください。転倒・破損・変形の原因になります。</p>	 <p>側板の着脱を行う際は、必ず2人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。</p>
 <p>重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。重量物をスライドレールなどにより引出した場合、転倒・破損・変形の原因になります。</p>	<p>保守、点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。故障・感電・けがの原因になります。</p>
 注意	
 <p>指に注意</p> <p>ドアの着脱を行う際は、ドアとラック本体の間に指を挟まないでください。けがの原因になります。</p>	 <p>分解禁止</p> <p>フレームを分解しないでください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。</p>
<p>ドアの着脱を行う際は、蝶番のレバー操作で指を挟まないでください。けがの原因になります。</p>	<p>次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温、高温となる場所 ・腐食性ガスのある場所 ・振動、衝撃のある場所 ・可燃性ガスのある場所 ・塵埃やオイルミストが多い場所 ・ノイズ(電界・磁界)の強い場所 ・水滴のかかる場所 ・導電性粉塵(カーボン繊維・金属粉)のある場所
 <p>蝶番・ロッド棒受金具を取外す際は、取付ねじの破損・落下に注意してください。</p>	

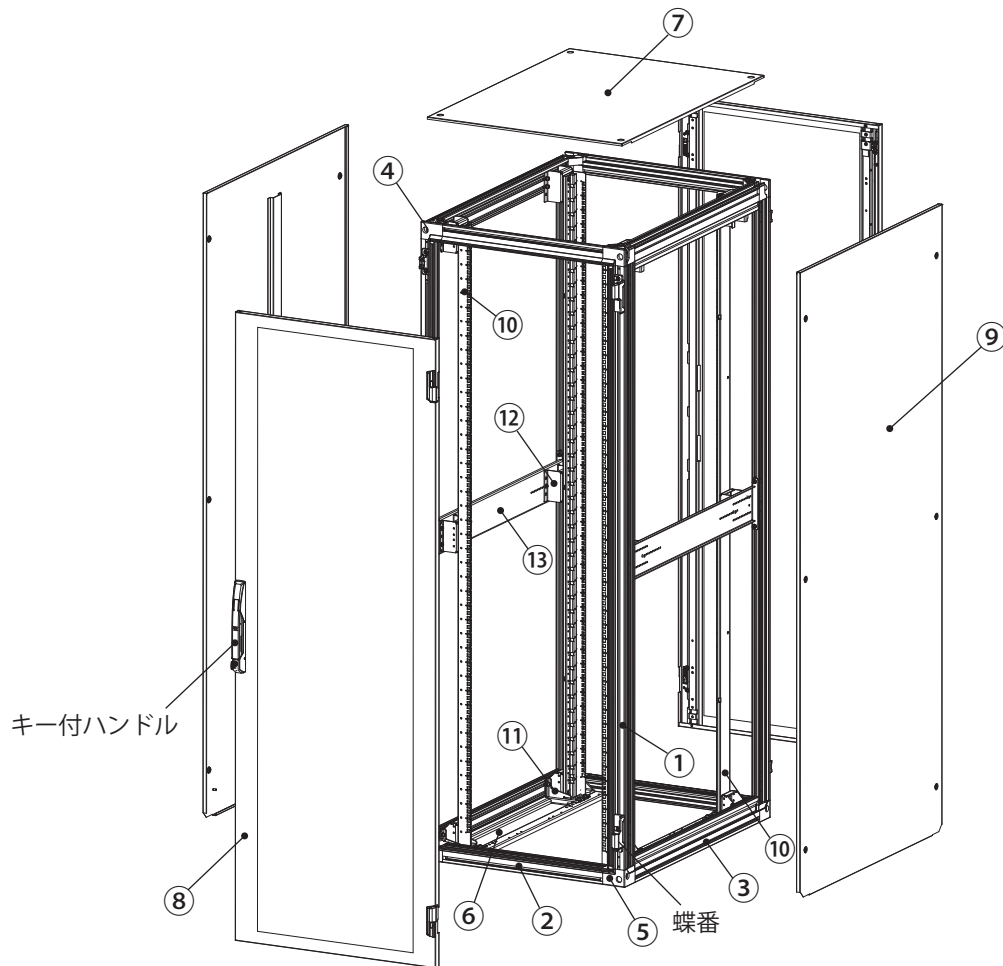
⚠ 注意

<p>本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコみや歪みが発生し、強度低下の原因になります。</p> <p>天井面へは局部的な荷重をかけないでください。変形の原因になります。</p> <p>本製品を横倒しの状態で機器を搭載しないでください。また、機器を搭載した状態でラックを横倒しにしないでください。ラックの変形・機器の破損の原因になります。</p> <p>台板取付用ファスナーは90°以上回さないでください。破損の原因になります。</p> <div style="text-align: center;">  <p>90°</p> <p>ファスナー</p> </div> <p>ドアの開閉角度は約180°です。扉を開けた状態で、矢印方向にさらに荷重を掛けしないでください。ドアおよび蝶番部の変形・破損の原因になります。</p> <div style="text-align: center;">  <p>180°</p> </div> <p>ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けしないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p> <p>シリンダーにキーを抜き差ししながら回転方向にテンションをかけないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p> <p>シリンダーの施錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p> <p>蝶番のレバーを無理に可動しないでください。レバーの破損の原因になります。</p>	<p>使用するねじは、指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">ねじ呼び</th> <th style="text-align: center;">適正締付トルク N・m^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">M 4</td> <td style="text-align: center;">1.5 ~ 2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">M 5</td> <td style="text-align: center;">2.5^{※2}</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2.9 ~ 3.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">M 6</td> <td style="text-align: center;">3.9 ~ 4.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">M16</td> <td style="text-align: center;">50.0 ~ 59.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>^{※1}。ただし、S タイプねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。 ^{※2}。ケーブルホルダーをねじで固定する場合に適用します。</p> <p>機器を前面もしくは背面のマウントアングルのみで固定する場合は、機器の質量が1Uあたり5kg以下としてください。5kgを超える場合はL型レール【RD65】などを併用して、固定してください。 [※]機器の質量が5kg以下であっても形状（奥行寸法）や重心位置、施工時の取扱いなどによって機器後部が下がる場合があります。</p> <p>搭載した機器は、必ず固定してください。地震などで機器の落下・破損の原因になります。</p> <p>ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。 ・潤滑剤を使用しない場合の施錠寿命は、約1万回です。 ・キー・シリンダーの磨耗により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。</p> <p>ハンドル部の交換はドアを外して作業を行ってください。部品・ねじが落下して紛失の原因になります。</p> <p>ドアの着脱を行う際は、ドア下部の蝶番ピンが確実に差込まれていることを確認の上、ドア上側の蝶番のレバー操作をしてください。ドアの脱落・破損の原因になります。</p> <p>連結して使用する場合は、隣接するラックにドアが接触しないように手を添えて開閉してください。勢いよく開けると隣接するラックに接触して、ドア・ハンドル・キーの変形・破損の原因になります。</p>	ねじ呼び	適正締付トルク N・m ^{※1}	M 4	1.5 ~ 2.0	M 5	2.5 ^{※2}	2.9 ~ 3.9	M 6	3.9 ~ 4.9	M16	50.0 ~ 59.8
ねじ呼び	適正締付トルク N・m ^{※1}											
M 4	1.5 ~ 2.0											
M 5	2.5 ^{※2}											
	2.9 ~ 3.9											
M 6	3.9 ~ 4.9											
M16	50.0 ~ 59.8											

■コンセントバー使用時のご注意

⚠ 警告	
<p> 分解、改造をしないでください。感電・火災の原因になります。</p> <p> 被覆に傷が付いた状態での使用や、濡れた手でプラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。</p> <p> 電源コードまたはケーブルの引張り・はさみ・無理な曲げ・ねじり・傷付け・加工・加熱・重いものを載せるなどしないでください。断線して火災の原因になります。</p> <p>定格電流、定格電圧を超えて使用しないでください。過熱して火災の原因になります。</p> <p>プラグの差し込みが浅い状態で使用しないでください。感電・火災の原因になります。</p> <p>電源コードまたはケーブルを束ねての使用は避けてください。過熱して火災の原因になります。</p>	<p>二重三重のたこ足配線はしないでください。プラグが抜けやすくなり、発熱して火災の原因になります。</p> <p>刃の曲がったプラグは使用しないでください。火災の原因になります。</p> <p>プラグの抜き差しが弱い状態で使用しないでください。発熱して火災の原因になります。</p> <p>電源コードまたはケーブル・プラグ・コンセントが破損したままの状態で使用しないでください。感電・火災の原因になります。</p> <p>定期的にプラグの表面や差し込み部を掃除してください。火災の原因になります。</p> <p>必ずプラグを持ってまっすぐに引抜いてください。内部の電線が切れて、焼損・火災の原因になります。</p>

■各部の名称・仕様



部品名	材質	板厚 mm	数量
① フレームタテ	アルミ	—	4コ
② フレームヨコ	〃	—	4コ
③ フレームフカサ	〃	—	4コ
④ コーナー(上)	〃	—	4コ
⑤ コーナー(下)	〃※	—	4コ
⑥ アダプタフレーム	鉄	2.3	2コ
⑦ 天井板	〃	0.8	1コ
⑧ ドア	〃	〃	2コ
⑨ 側板	〃	〃	2コ
⑩ ケージナット用マウントアングル	〃	2.0	4コ
⑪ アングル取付アダプタ	〃	2.3 3.2	4コ
⑫ アングル固定金具	〃	2.3	8コ
⑬ 側フレーム	〃	〃	2コ

※AHSTの場合、材質は鉄となります。

●付属品

名称	数量
キー	4コ
ケージナット用取付工具	1コ
取扱説明書(本紙)	1部

⚠ 注意



分解禁止

フレームを分解しないでください。
ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

ご注意

- ・サーバを搭載する場合、各サーバによってレールの形状などが異なり、取付けができない場合があります。
- ・組替仕様・オプション実装(同送)・特注対応により付属品の数量・種類などを変更する場合があります。
- ・ケージナット【RD751】は付属されていません。別途ご用意ください。

■設置方法

⚠警告



アンカーボルトは必ず M16 を使用してください。
地震などで転倒・破損の原因となります。

⚠注意

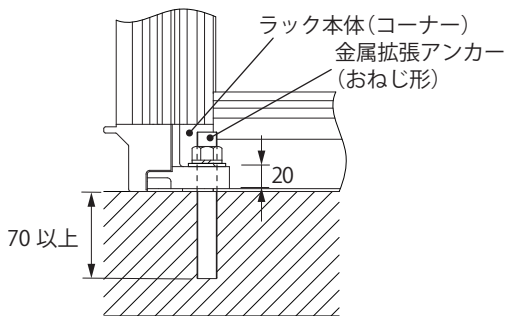


ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。
ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

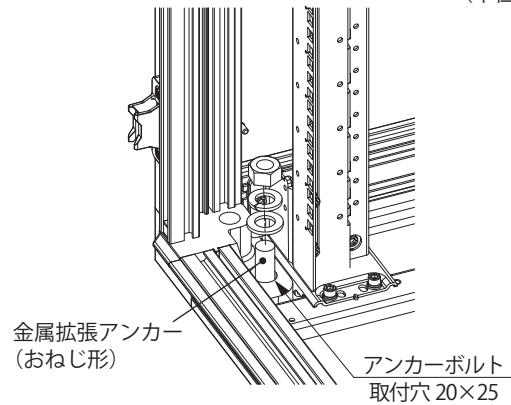
ラック本体底面のアンカーボルト取付用穴(長穴 20mm×25mm 4カ所)に、M16 アンカーボルトで床面に固定してください。

ボルト径	最小埋込深さ mm
M16	70

(単位: mm)



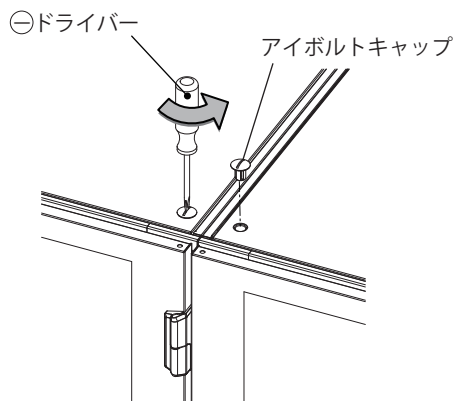
あと施工アンカー施工例



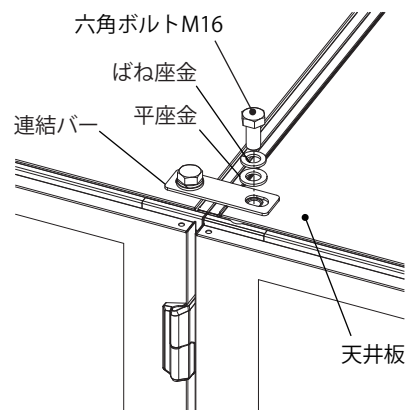
■連結方法

オプション・天井連結金具セット【RD76-1FH】を使用して連結してください。

1. ラックの連結間に隙間がないように設置してください。
2. ラック天面のアイボルトキャップを左回りに回して取外してください。(連結側のみ)
アイボルトキャップが手で回らない場合は、⊖ドライバーなどを使用してください。
3. 天井連結金具セットの連結バーを天井板の上のせ、付属の六角ボルト M16・ばね座金・平座金にて締付けて連結してください。
【ご注意】 アイボルトキャップを取外す場合は、天井板の落下に注意してください。



アイボルトキャップの取外し



天井連結金具の取付

⚠注意



取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因となります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじ呼び	適正締付トルク N・m
M16	50.0 ~ 59.8

■外装パネルの着脱方法

機器の搭載・配線を行う際は、必要に応じて外装パネルを取外して作業してください。

●ドアの取外方法

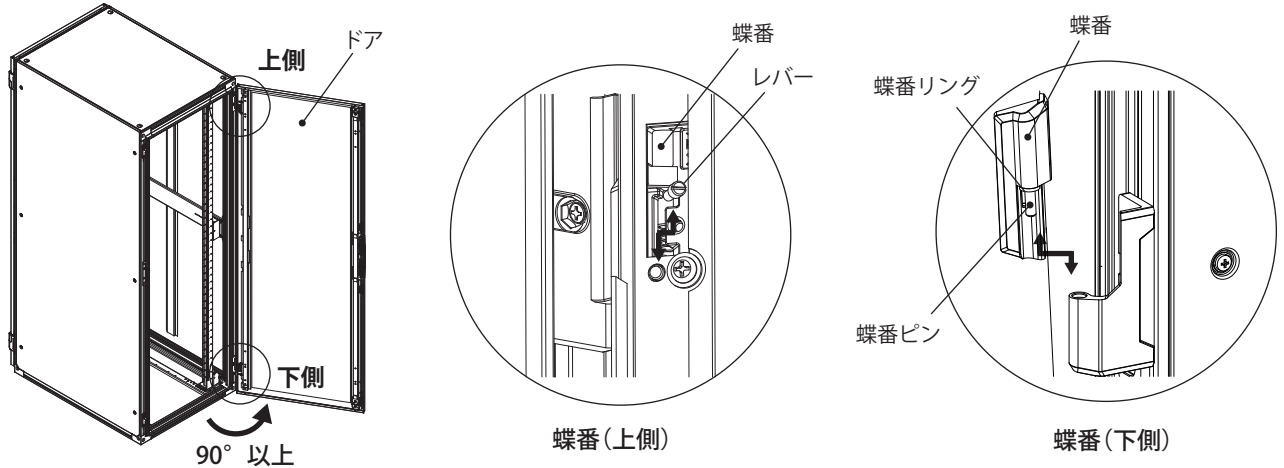
1. ドアを 90° 以上開けた状態で、蝶番(上側)のレバーを下げてください。
2. ドア全体を上へ持ち上げてドアを取外してください。

●ドアの取付方法

1. 蝶番(下側)の蝶番ピンを本体下側の蝶番に差込んでください。
2. 蝶番(上側)のレバーを上げてドアを取付けてください。

◇注意

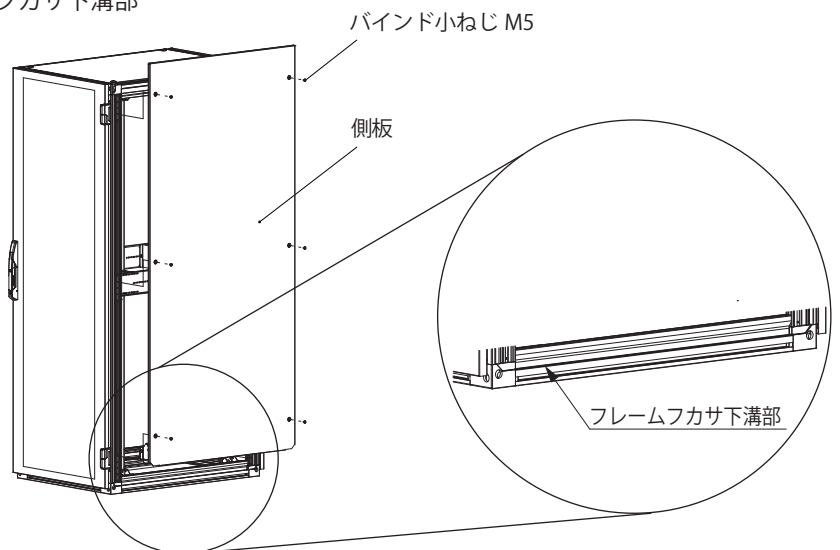
- ・ドア下部の蝶番ピンを差込む際に、蝶番リングが取付けられていることを確認してください。
- ・ドアを取付けた後に、ドアが外れないか、がたつきがないか必ず確認してください。



⚠ 注意	
 指に注意	ドアの着脱を行う際は、ドアとラック本体の間に指を挟まないでください。けがの原因になります。
	ドアの着脱を行う際は、蝶番のレバー操作で指を挟まないでください。けがの原因になります。
	蝶番のレバーを無理に可動しないでください。レバーの破損の原因になります。
	ドアの着脱を行う際は、ドア下部の蝶番ピンが確実に差込まれていることを確認の上、ドア上側の蝶番のレバー操作をしてください。ドアの脱落・破損の原因になります。

●側板の着脱方法

1. 側板のバインド小ねじ M5 を取外してください。
2. 側板全体を上へ持ち上げて側板下部をフレームフカサ下溝部から抜いて、側板を取外してください。
3. 取付けの場合は逆の手順で行ってください。



⚠ 注意					
	取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ねじ呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M5</td> <td>2.9 ~ 3.9</td> </tr> </tbody> </table>	ねじ呼び	適正締付トルク N・m	M5	2.9 ~ 3.9
ねじ呼び	適正締付トルク N・m				
M5	2.9 ~ 3.9				

●外装パネルの施錠・解錠方法

《ドアの施錠・解錠方法》

1. ハンドルのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
2. 左回りで施錠、右回りで解錠してください。

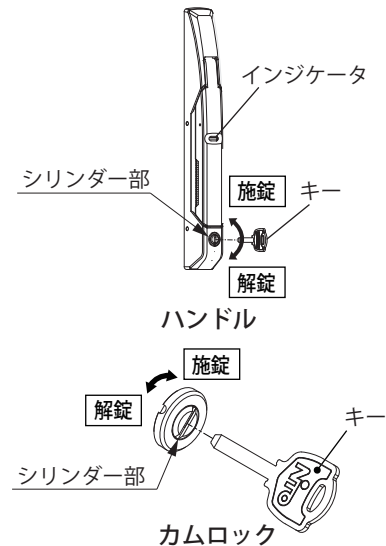
《側板の施錠・解錠方法》

【対象機種：側板組替仕様・側板鍵付タイプ(-SK)、(-SKR)、(-SKL)】

1. カムロックのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
2. 右回りで施錠、左回りで解錠してください。

ご注意

- ・キーは施錠時のみ抜差しができます。
- ・ハンドルの施錠解錠の状態は中央のインジケータで確認できます。
(緑：解錠、赤：施錠)
- ・ハンドルのキーが抜かれた状態(施錠状態)でドアを閉めると自動施錠されます。ラック内へのキーの置忘れに注意してください。
- ・施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。
- ・キーの抜差しは、所定の位置でゆっくりと確実に行ってください。
また、キーを完全に差し込まない状態での回転動作は行わないでください。



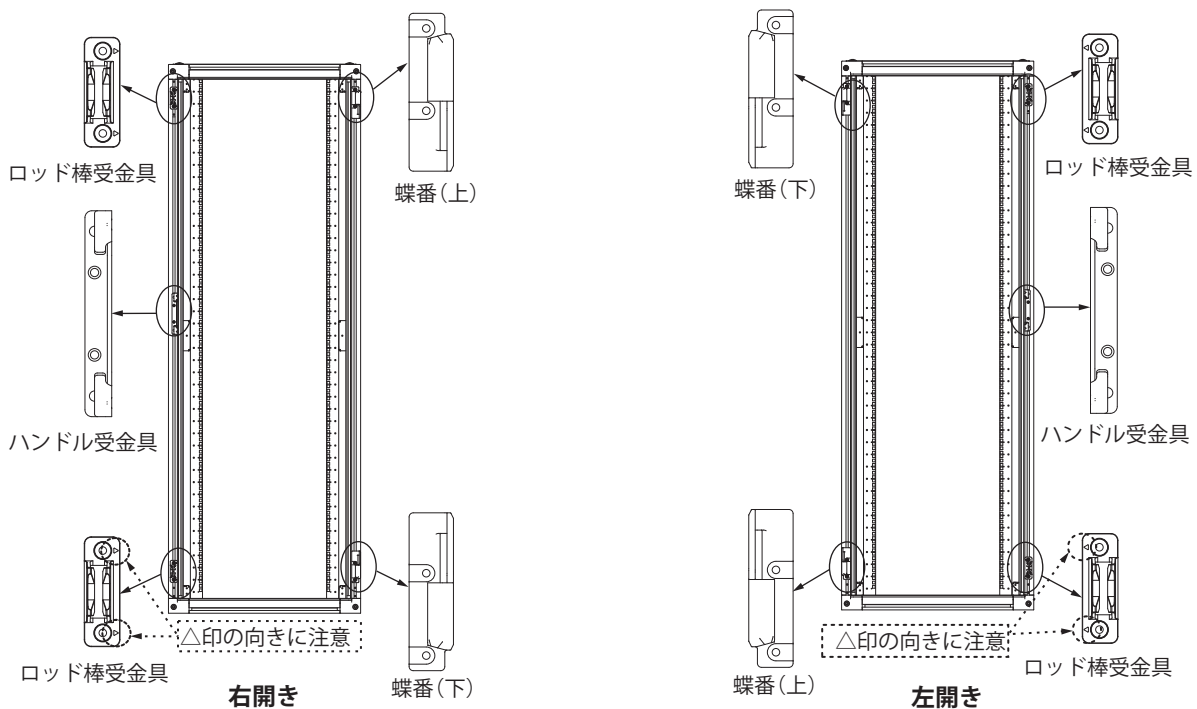
⚠ 注意

	<p>ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p>		<p>ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜差しが硬くなるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潤滑剤を使用しない場合の施錠寿命は、約 1 万回です。 ・キー・シリンダーの磨耗により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。
	<p>シリンダーにキーを抜差ししながら回転方向にテンションをかけないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p>		
	<p>シリンダーの施錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p>		

■ドア左開きの変更方法

●本体組付け部品の変更

1. ドアを取外してください。(P.6「●ドアの取外方法」を参照)
2. 下図を参考に、蝶番、ロッド棒受金具、ハンドル受金具を付け直してください。
この時、蝶番の向き、ロッド棒受金具の向きを下図のようになるように確認してください。



⚠ 注意

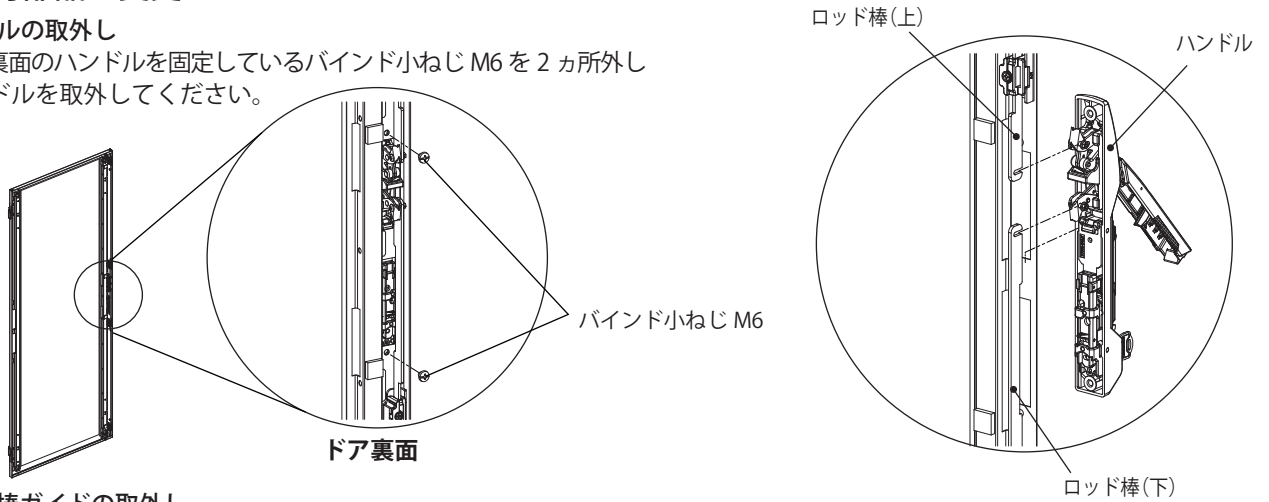


蝶番・ロッド棒受金具を取外す際は、取付ねじの破損・落下に注意してください。

● ドア組付部品の変更

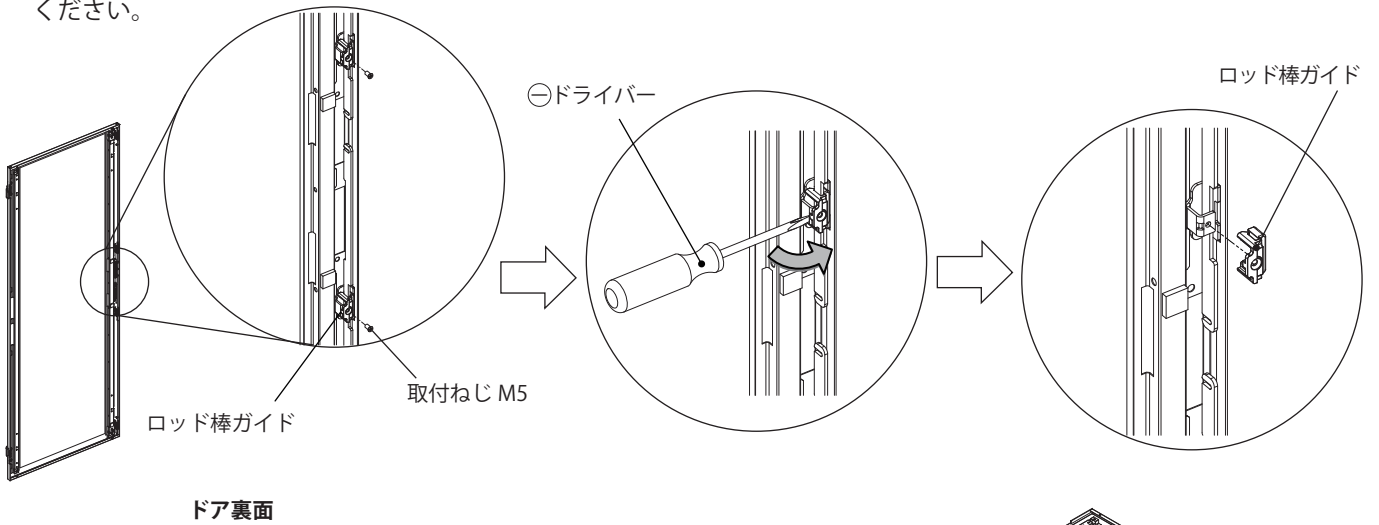
1. ハンドルの取外し

ドア裏面のハンドルを固定しているバインド小ねじ M6 を 2 ヶ所外し
ハンドルを取外してください。



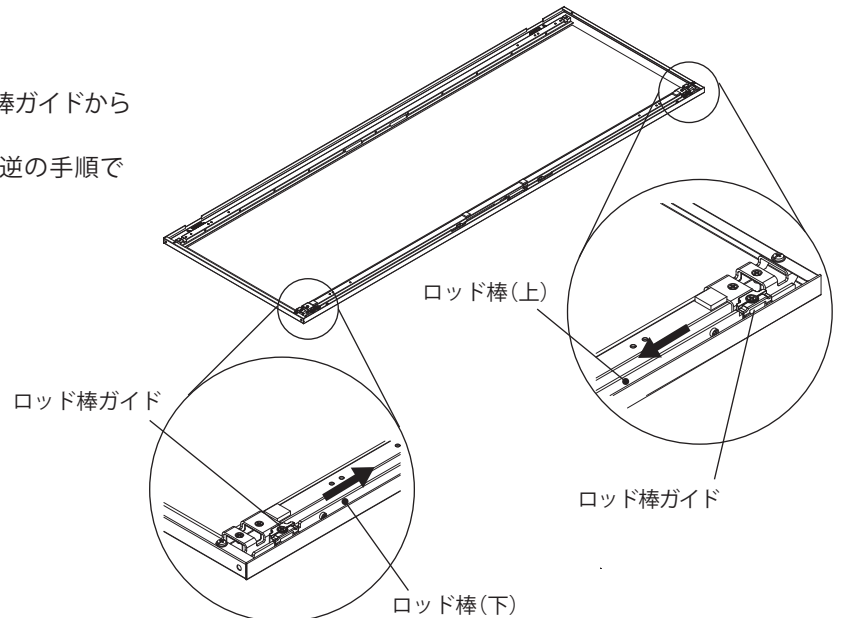
2. ロッド棒ガイドの取外し

ドア裏面のロッド棒ガイド(2コ)の取付ねじ M5 を外し、
⊖ドライバーなどを利用してロッド棒ガイドを取外して
ください。



3. ロッド棒の反転

- ① ロッド棒をスライドさせて、上下端のロッド棒ガイドから
ロッド棒を外してください。
- ② ロッド棒の上下を反転して、取外し手順と逆の手順で
取付けてください。



⚠ 注意

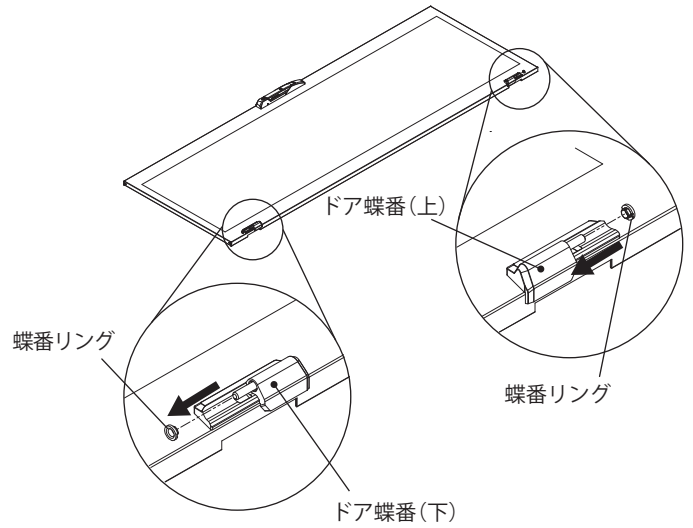
取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付け
が不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け
過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.9 ~ 3.9
M6	3.9 ~ 4.9

ハンドル部の交換はドアを外して作業を行ってください。
部品・ねじが落下して紛失の原因になります。

4. 蝶番リングの位置変更

ドア蝶番(下)に付いている蝶番リングを取外して、ドア蝶番(上)へ取付けてください。



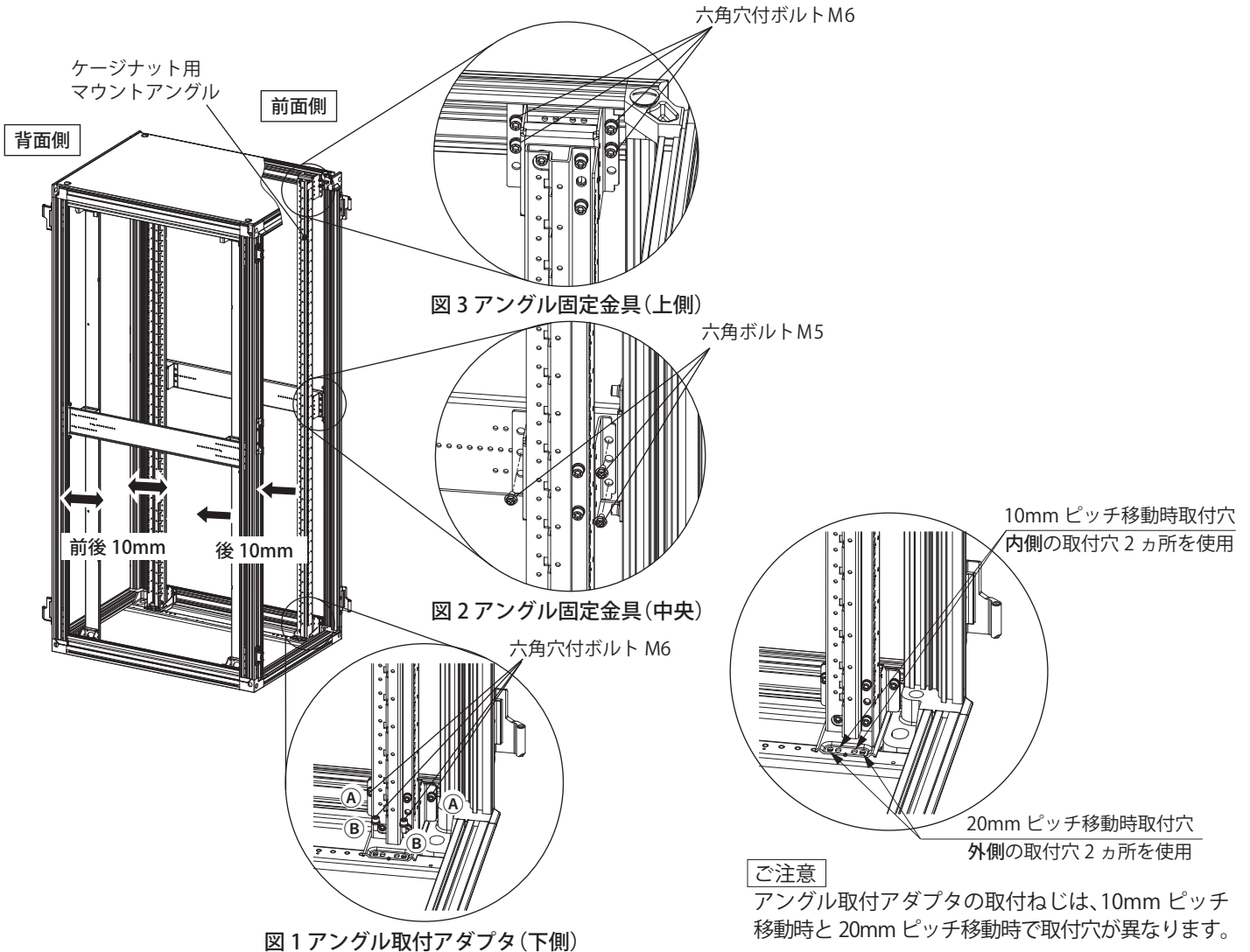
5. 取外し部品の再組付

- ① ロッド棒ガイドを取付け、ハンドルを上下反転させてから取付けてください。
- ② ドアを組付けてください。(P.6 ●「ドアの取付方法」を参照)
- ③ ハンドル受金具の上下位置を調整し完了となります。

■ ケージナット用マウントアングルの移動方法(移動ピッチ10mm)

機器の寸法に合わせて、ケージナット用マウントアングルを移動して調整してください。

1. ケージナット用マウントアングルを取付けているアングル取付アダプタ(下側)の六角穴付ボルト M6のうち、①のねじを2本ゆるめ、②のねじを2本取外してください。[使用工具：六角棒レンチ(呼び5)](図1)
2. アングル固定金具(中央)の六角ボルト M5(3本)を取外してください。(図2)
3. アングル固定金具(上側)の六角穴付ボルト M6(4本)をゆるめてください。(図3)



ご注意

アングル取付アダプタの取付ねじは、10mm ピッチ移動時と 20mm ピッチ移動時で取付穴が異なります。

⚠ 注意



取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.9 ~ 3.9
M6	3.9 ~ 4.9

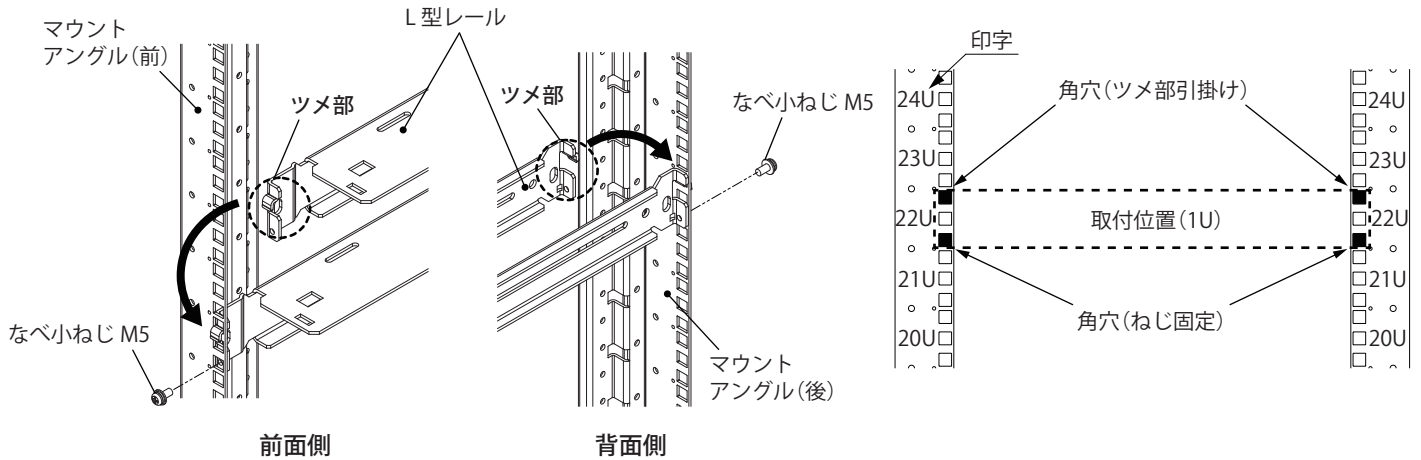
■各種オプションの取付方法

●スリット付台板セット・前後マウントタイプ【RD153-61ES (K) N】

1. L型レールの取付

- ①L型レールの長さを前後マウントアングル間のピッチに調整してください。
- ②L型レールのツメ部をマウントアングル(前)・(後)の角穴に引掛け、付属のなべ小ねじ M5 (4カ所)にて固定してください。
使用する角穴の位置は、取付位置(1U)の上側の角穴となります。

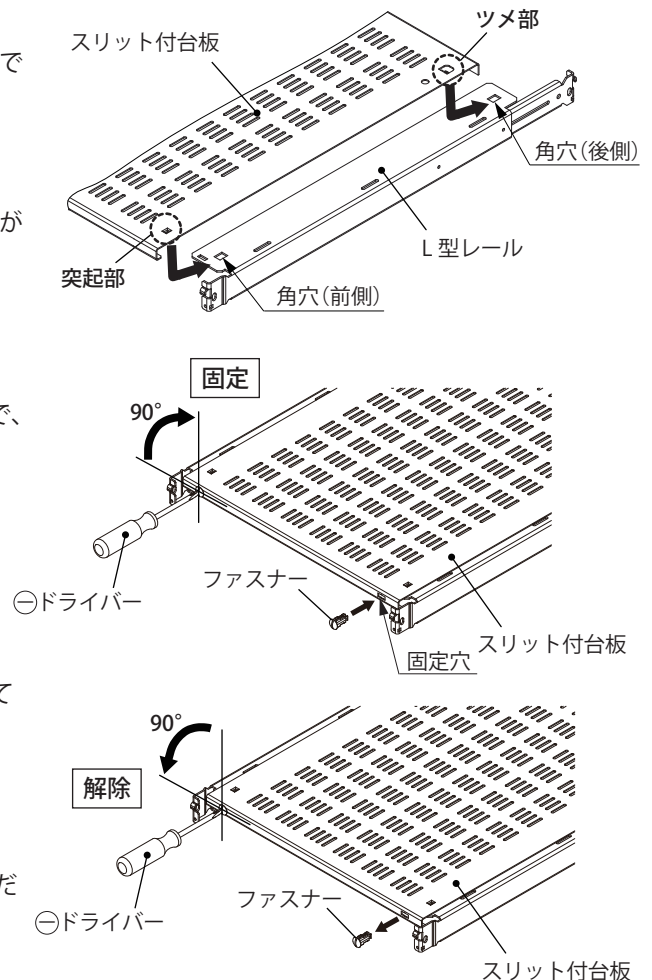
【ご注意】 前後左右で同じ高さの位置に取付いているか確認してください。



2. スリット付台板の取付

- ①スリット付台板のツメ部をL型レールの角穴(後側)に差込んで位置決めしてください。
- ②スリット付台板の突起部とL型レールの角穴(前側)の位置が合うようにスリット付台板を置いてください。
- ③付属のファスナーをスリット付台板前面の固定穴に差込んで、
⊖ドライバーなどで右回りに90°回して固定してください。
- ④スリット付台板を外す際は、ファスナーを左回りに90°回して固定を解除してください。
- ⑤ファスナーを前面に引いた状態でスリット付台板を外してください。

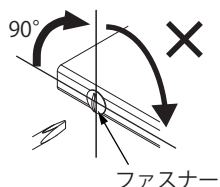
【ご注意】 ファスナーは完全には引抜かないでください。



⚠ 注意



台板取付用ファスナーは90°以上回さないでください。破損の原因になります。



取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.9 ~ 3.9

●スリット付スライド式台板セット・前後マウントタイプ【RD162-51ESK】

1. スライドレールの取付

- ①ロックレバーを押込んでロックを解除して、インナーメンバーをアウターメンバーから取外してください。(図 1)
- ②ブラケットにアウターメンバー、スリット付スライド式台板にインナーメンバーを付属のバインド小ねじ M4 にて固定してください。※図は右側を示します。(図 2)

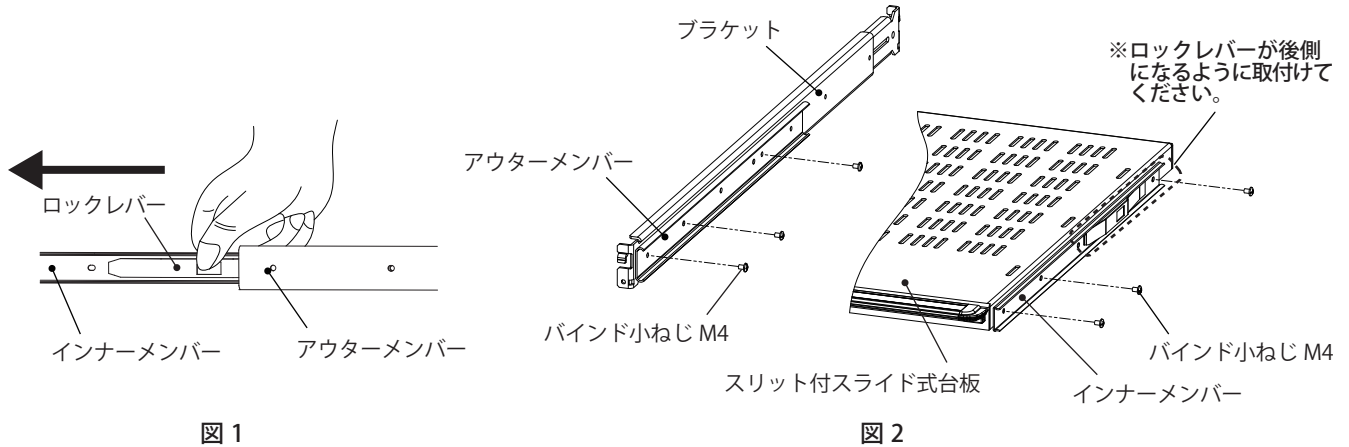


図 1

図 2

2. ブラケットの取付

- ①ブラケットの長さを前後ケジナット用マウントアングル間のピッチに調整してください。
- ②ブラケットのツメ部をケジナット用マウントアングル(前)・(後)の角穴に引掛け、付属のなべ小ねじ M5 にて固定してください。使用する角穴の位置は、取付位置(1Uの高さ)の上側の角穴となります。(図 5)

ご注意 前後左右で同じ高さの位置に取付いているか確認してください。(図 6)

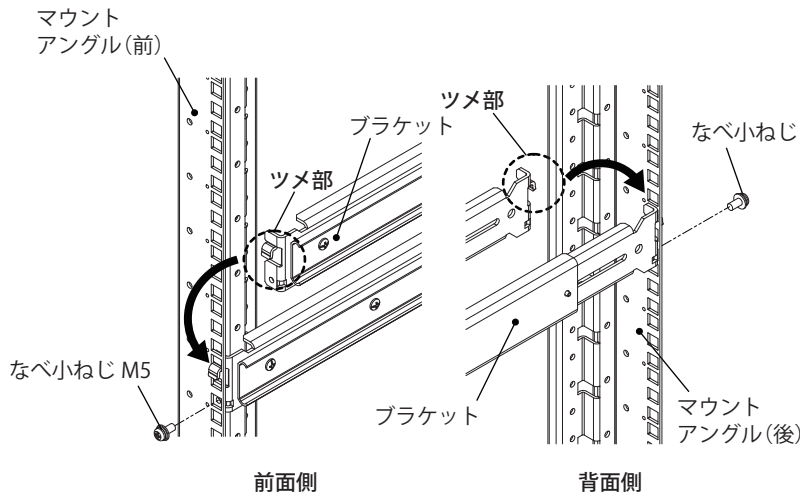


図 3

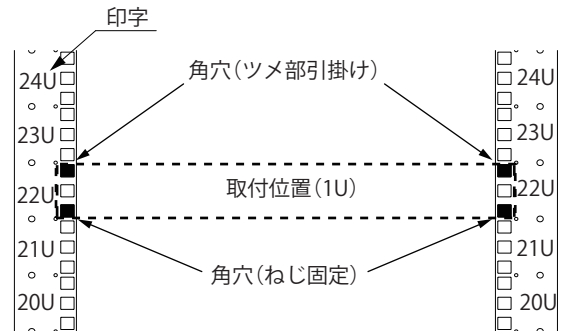


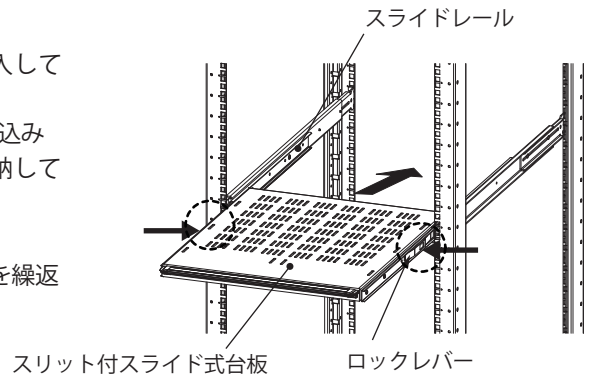
図 4

3. スリット付スライド式台板の取付

- ①スリット付スライド式台板をブラケットのスライドレールに挿入してください。
- ②スリット付スライド式台板両側にあるロックレバーを左右同時に押し込みながら、スリット付スライド式台板をロックが掛かるまで奥に収納してください。

ご注意

最初の挿入時は動きが硬く感じる場合があります。数回の出し入れを繰り返しながら徐々に押し込んでください。



⚠ 注意

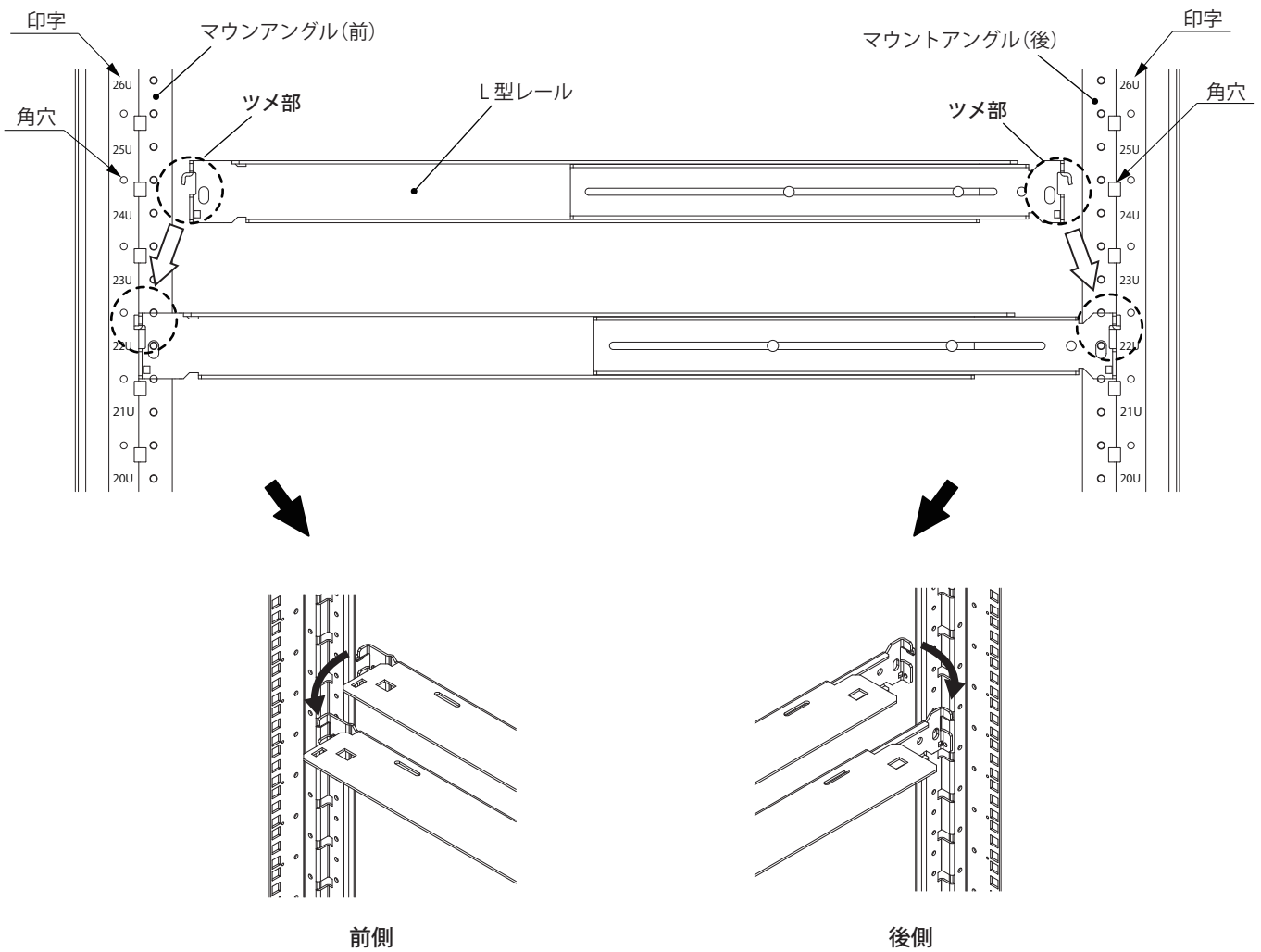
取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじ呼び	適正締付トルク N・m
M4	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

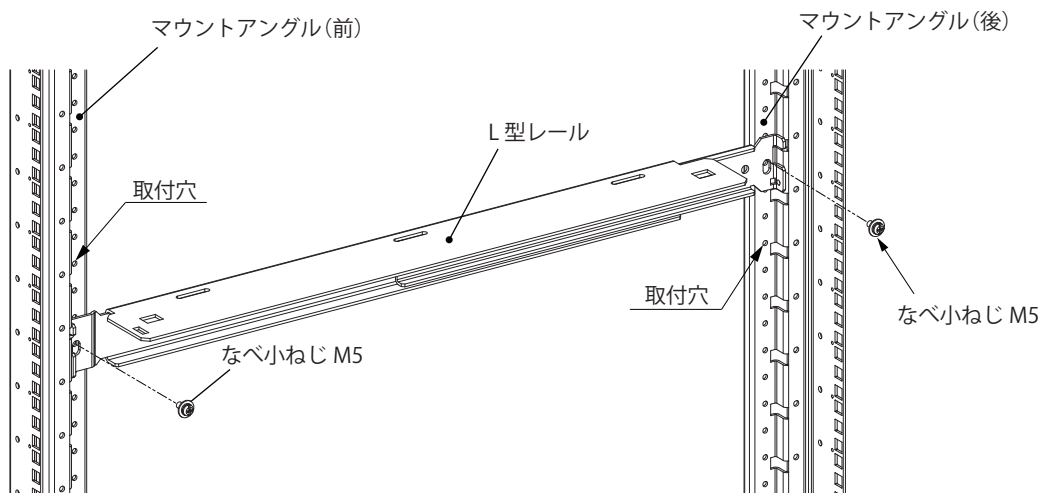
● L型レール【RD65-60AHK】

1.L型レールの長さを調整して、L型レールのツメ部をマウントアングル(前)・(後)の側面にある角穴に引掛けてください。

【ご注意】 マウントアングルに番号が印字されています。前後左右で同じ高さの位置に取付しているか確認してください。



2. マウントアングル(前)・(後)の取付穴に付属のなべ小ねじ M5 で L型レールを固定してください。



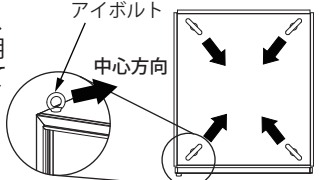
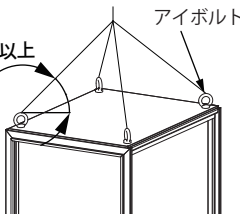
⚠ 注意



取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

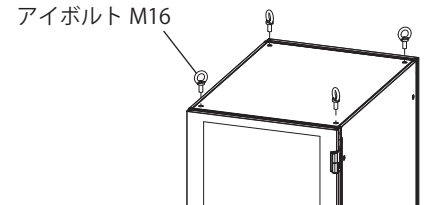
ねじ呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.9 ~ 3.9

●アイボルト【RD71-16】

⚠ 警告	
!	<p>本製品を吊上げる場合は、アイボルト【RD71-16】を使用し、吊上げ中心方向に向けて固定してください。落下・破損・変形の原因になります。</p> 
!	<p>必ず4カ所で吊上げ、45°以上の角度で均一な荷重にしてください。2カ所での吊上げや45°未満の角度での吊上げは、落下・破損・変形の原因になります。</p> 

天面の4コーナーにあるアイボルトキャップを取外し、アイボルト M16 を取付けてください。

ご注意 アイボルトキャップを取外す場合は、天井板の落下に注意してください。

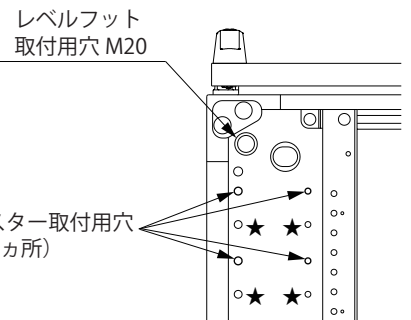


●キャスター【RD72-6T(S)】

ラック本体底面の4コーナーにあるキャスター取付用穴 M6(4カ所)に取付けてください。

ご注意

キャスター[ストッパー付]【RD72-6T(S)】とレベルフット【RD73-10T】を同時取付する際は★印のついた4カ所に取付けてください。



●レベルフット【RD73-10T】

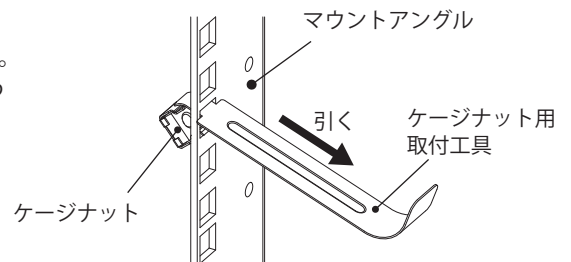
ラック本体底面のレベルフット取付用穴 M20 に取付けてください。

●ケージナット【RD751】

1. ケージナットのばねの一方をマウントアングルの角穴に引掛けてください。
2. ラックに付属のケージナット用取付工具または、⊖ドライバーなどでもう一方のばねに引掛けて、引いて角穴に入れてください。

ご注意

角穴ピッチが小さくケージナット同士が干渉し取付けづらい場合は、ケージナットを90°回転させヨコ向きにして取付けてください。

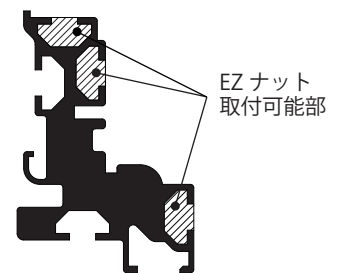


ケージナット(タテ向き)取付例

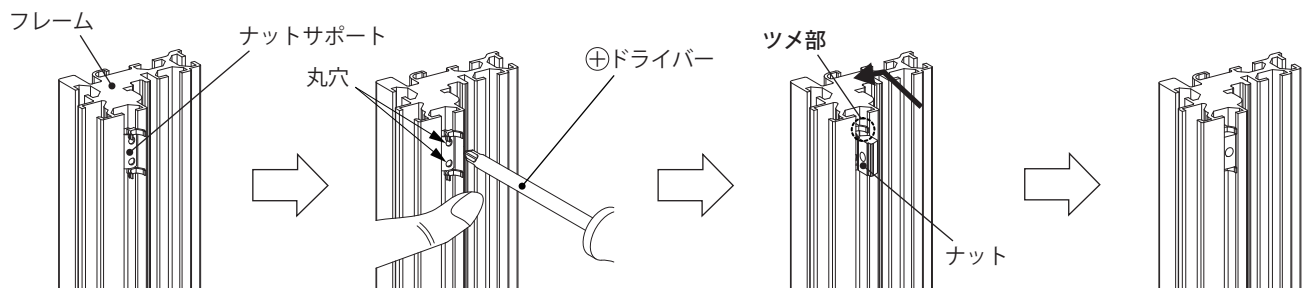
●EZ ナット【RD85-5AH】

1. ナットサポートをフレームのEZ ナット取付可能部にはめ込んでください。
2. ナットサポートが落下しないよう指で押えながら、丸穴部分2カ所を⊕ドライバーなどで押して、ナットサポートを押込んでください。
3. ナットのねじ穴がフレームに対して横向きの状態でナットサポートツメ部にはめて、フレーム内でねじ穴が正面を向くように、押し込みながら回転させてください。

ご注意 最後にナットが確実にめ込まれていることを確認してください。



EZ ナット取付可能部
フレームタテ断面図



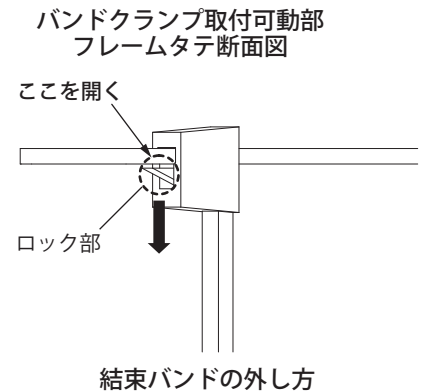
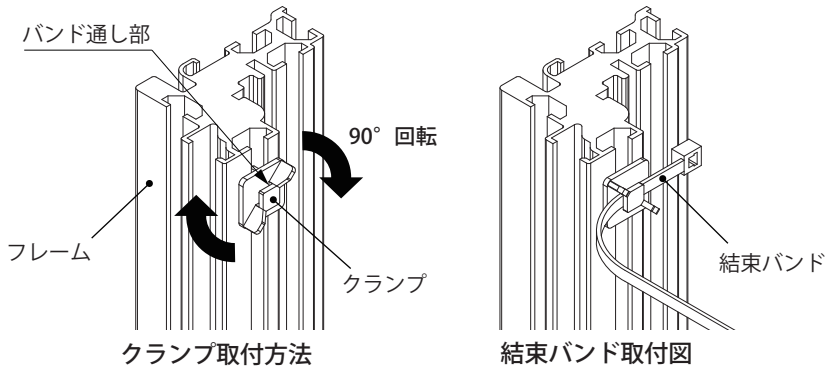
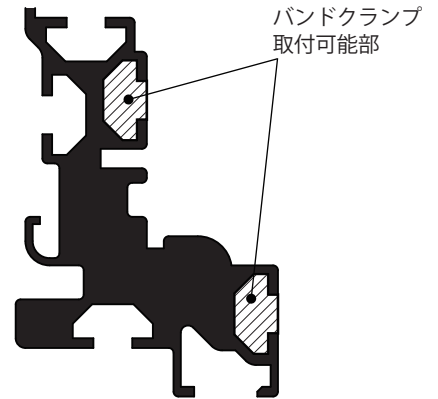
EZ ナット取付手順

●バンドクランプ【RD852-2AH】

- ①クランプをフレームのバンドクランプ取付可能部にはめ込み、右回りに90°回転してください。
- ②クランプのバンド通し部に結束バンドを通し、結束してください。
- ③結束バンドの結束を外す場合は、ロック部を図の矢印方向に開くとロックが外れます。操作しづらい場合は、⊖ドライバーなどを使用してください。

【ご注意】

- ・結束バンドを締過ぎないでください。締過ぎるとケーブルを傷めるおそれがあります。また、結束バンドが外しづらくなります。
- ・ケーブルなどを整線する際は必ず数カ所で結束してください。フレームタテに取付けた場合、1カ所のみにかかる荷重がかかるとクランプが滑り落ちるおそれがあります。

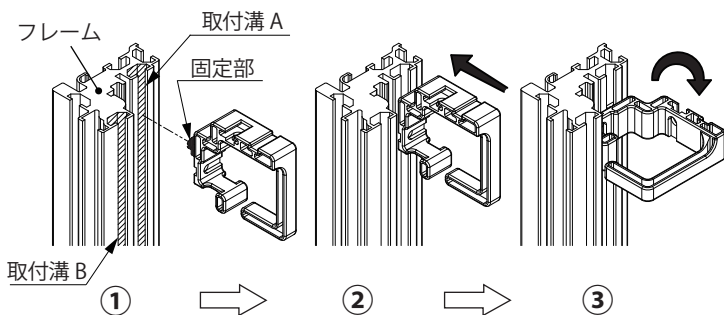


●ケーブルホルダー (AH 用) 【RD87-AHK】

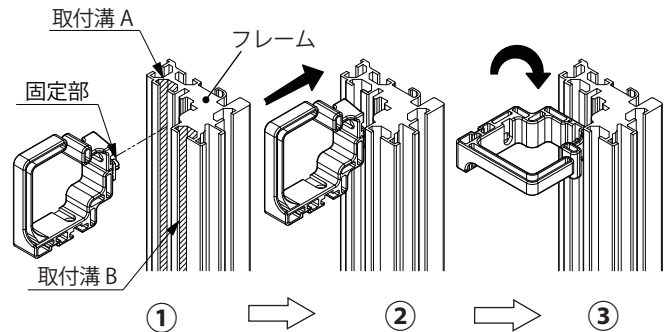
《フレームへの取付方法》

ラックフレームの取付溝 A または B にケーブルホルダーの固定部を差込み、右回りに90°回転させて取付けてください。
(①→②→③の手順で取付けてください。)

向かって左側



向かって右側



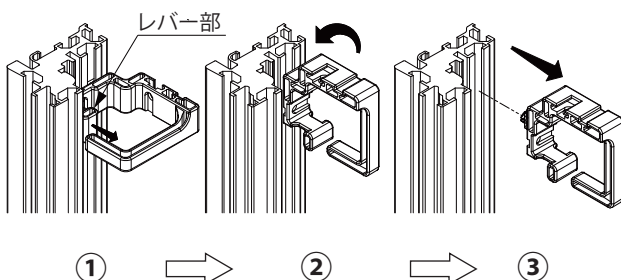
【ご注意】

- ・確実にロックするまで回転させて取付けてください。
- ・最初に固定する際は、回転が硬く感じる場合があります。徐々に回転させて取付けてください。
- ・ケーブルホルダーの取付方法は、フレームの左右で違います。逆回転での取付けはできません。

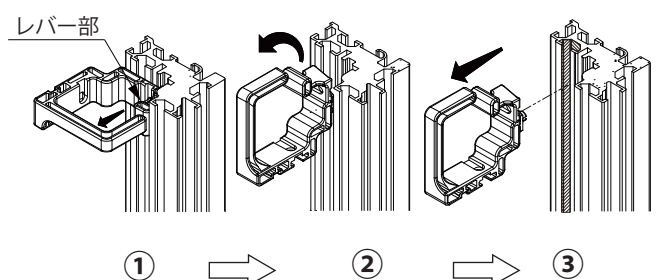
《取外方法》

レバー部を引きながら、左回りに90°回転させて取外してください。
(①→②→③の手順で取外してください。)

向かって左側



向かって右側

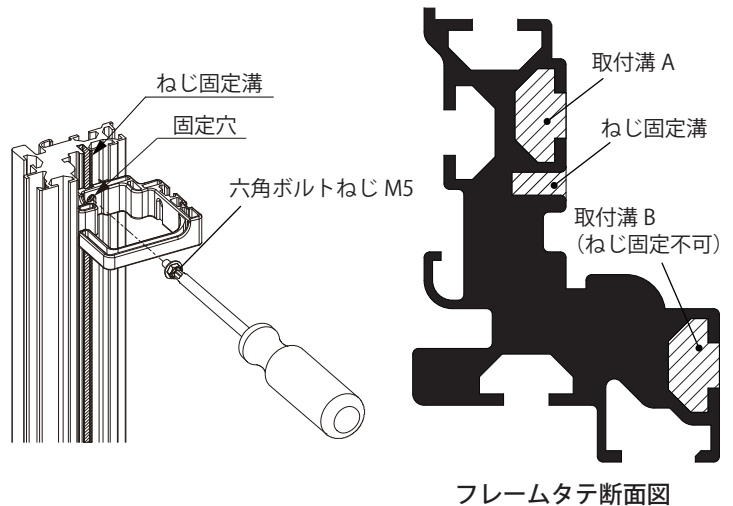


《フレームへのねじ固定方法》

ケーブルホルダーの位置ずれ・回転防止対策として、フレームへのねじ固定が可能です。
(ラックフレーム取付溝 A のみ)
ケーブルホルダーをフレームに取付後、ケーブルホルダーの固定穴を付属の六角ボルトねじ M5 で固定してください。

【ご注意】

フレームのねじを止めた部分に跡が残ります。ケーブルホルダー取付位置を決定後、ねじ固定を行ってください。



フレームタテ断面図

⚠ 注意



取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじ呼び	適正締付トルク N・m※
M5	2.5

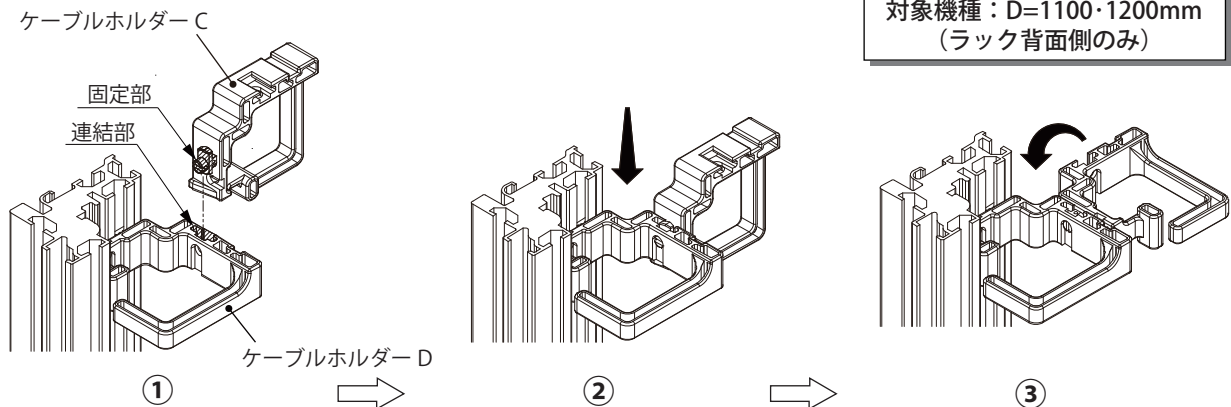
※ただし、S タイプねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

《ケーブルホルダーの連結方法【RD87-2AHK のみ】》

配線の系統分けや配線量が多い場合、ケーブルホルダーの連結による追加が可能です。
ケーブルホルダー C の固定部を図の方向にケーブルホルダー D の連結部に差込み、右回りに 90° 回転させて連結してください。
(①→②→③の手順で取付けてください。)

【ご注意】

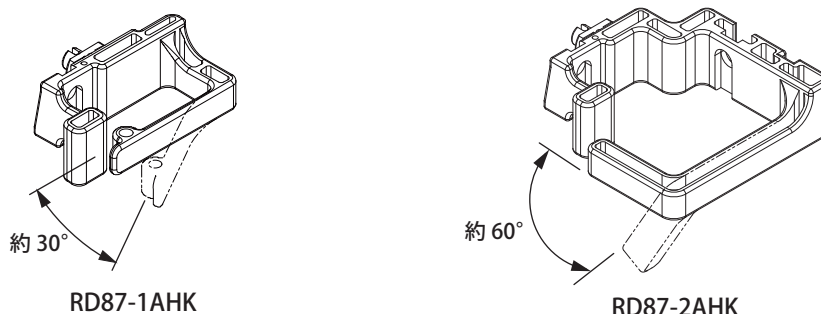
- ・確実にロックするまで回転させて取付けてください。
- ・逆回転での取付けはできません。
- ・ケーブルホルダーを連結する場合、ラックフレームに取付けたケーブルホルダー D は、ねじ固定での使用を推奨します。



《ケーブルの収納方法》

挿入部を手で曲げて、ケーブルを収納してください。

【ご注意】 ケーブルホルダーにケーブルを収納する際は、挿入部を曲げ過ぎないでください。変形・破損の原因になります。



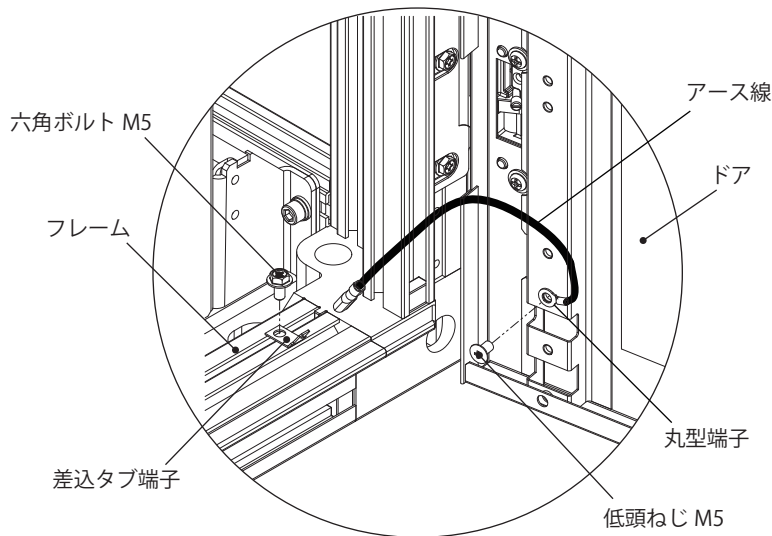
RD87-1AHK

RD87-2AHK

●アース線【RD891-20C】

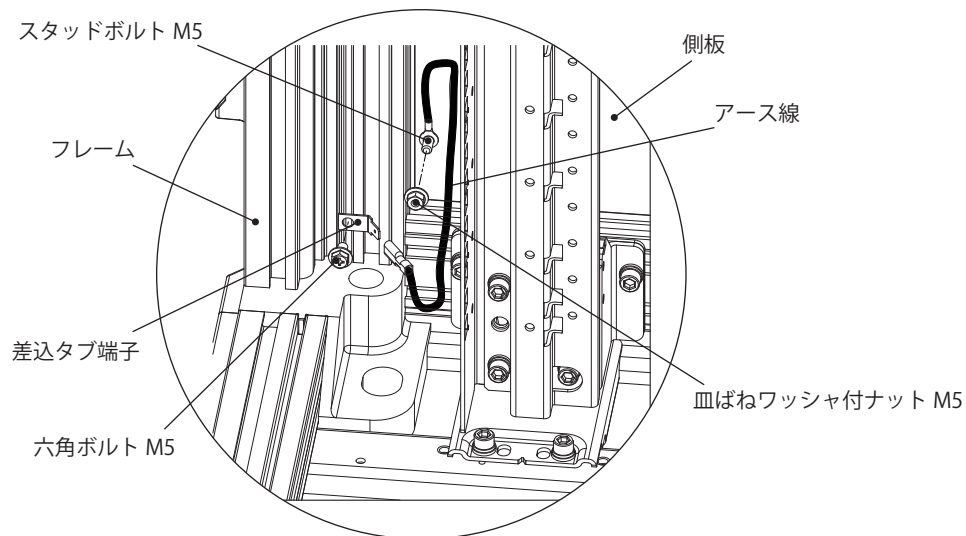
《ドアの取付方法》

1. ラック本体のフレームへ、差込タブ端子を付属の六角ボルト M5 で取付けてください。
2. ドア下部の取付穴へ、アース線の丸型端子側を付属の低頭ねじ M5 で取付けてください。
3. アース線の差込形接続端子を、フレームに取付けた差込タブ端子に接続してください。



《側板・天井板の取付方法》

1. ラック本体のフレームへ、差込タブ端子を付属の六角ボルト M5 で取付けてください。
2. 側板(下側)または天井板(背面側)のスタッドボルト M5 へ、アース線の丸型端子側を付属の皿ばねワッシャ付ナット M5 で取付けてください。
3. アース線の差込形接続端子を、フレームに取付けた差込タブ端子に接続してください。



⚠ 注意



取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじ呼び	適正締付トルク N・m※
M5	2.9 ~ 3.9

※ただし、S タイプねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は 2016 年 3 月現在のものです。

B948748928